

表 650 被囊性腹膜硬化症(EPS)の既往 治療方法(新分類)別 (腹膜透析の経験があるか現在施行している患者)

治療方法 (新分類)	なし	あり				合計	不明	記載なし	総計				
		剥離手術既往あり		剥離手術既往なし									
		ステロイド 使用歴あり	ステロイド 使用歴なし	ステロイド 使用歴あり	ステロイド 使用歴なし								
施設血液透析	4,698 (%)	332 (91.1)	33 (6.4)	50 (0.6)	44 (1.0)	5,157 (100.0)	121	549	5,827				
Off-line HDF	131 (%)	15 (87.3)		3 (10.0)	1 (2.0)	150 (100.0)	3	26	179				
On-line HDF	1,710 (%)	98 (92.4)	5 (5.3)	20 (0.3)	18 (1.1)	1,851 (100.0)	51	190	2,092				
Push/Pull HDF	1 (%)					1 (100.0)			1				
バイオフィルトレーション	10 (%)					10 (100.0)		2	12				
IHDF	179 (%)	20 (88.6)	1 (9.9)	1 (0.5)	1 (0.5)	202 (100.0)	9	21	232				
血液濾過	1 (%)					1 (100.0)			1				
血液吸着透析 (リクセル等使用)	39 (%)	6 (84.8)		1 (13.0)		46 (100.0)	2	3	51				
在宅血液透析	79 (%)	8 (88.8)		2 (9.0)		89 (100.0)	2	8	99				
腹膜透析 (CAPD)	3,132 (%)	10 (99.6)		2 (0.3)	2 (0.1)	3,146 (100.0)	47	1,780	4,973				
腹膜透析 (APD)	1,694 (%)	11 (98.8)		1 (0.6)	8 (0.1)	1,714 (100.0)	26	897	2,637				
腹膜透析 (CCPD)	655 (%)	2 (99.5)			1 (0.3)	658 (100.0)	4	343	1,005				
合計	12,329 (%)	502 (94.7)	39 (3.9)	80 (0.3)	75 (0.6)	13,025 (100.0)	265	3,819	17,109				
記載なし (%)													
総計	12,329 (%)	502 (94.7)	39 (3.9)	80 (0.3)	75 (0.6)	13,025 (100.0)	265	3,819	17,109				

数値下の括弧内は行方向の合計に対する%です。

\*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの

##D0611##

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy

2016年調査